

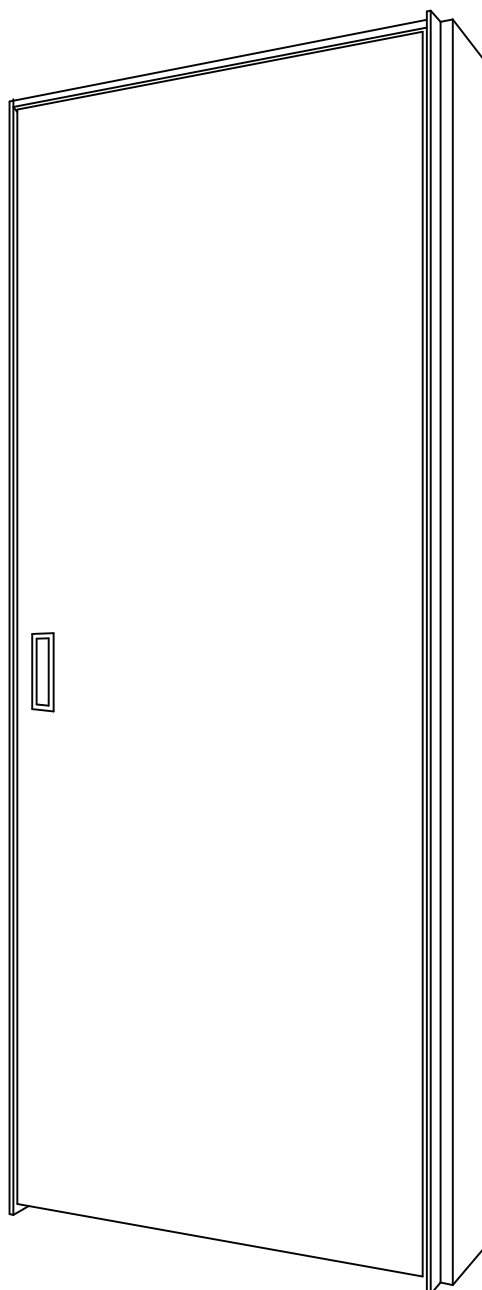
# miratap

建具

リミナル 片開きドア

組立設置説明書 04-RMN01S-00

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。  
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。





## ●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



### 警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。  
屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。  
保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、養生材等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。  
やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。  
変色・変質のおそれがあります。



枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。  
他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。



### 注意

「傷害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

「建具の引手部付近」と「枠戸当り（戸先側）の引手部付近」に強力なネオジムマグネットが挿入されています。ネオジムマグネットが挿入されている、建具及び、枠戸当り（戸先側）の取扱いには十分にご注意ください。

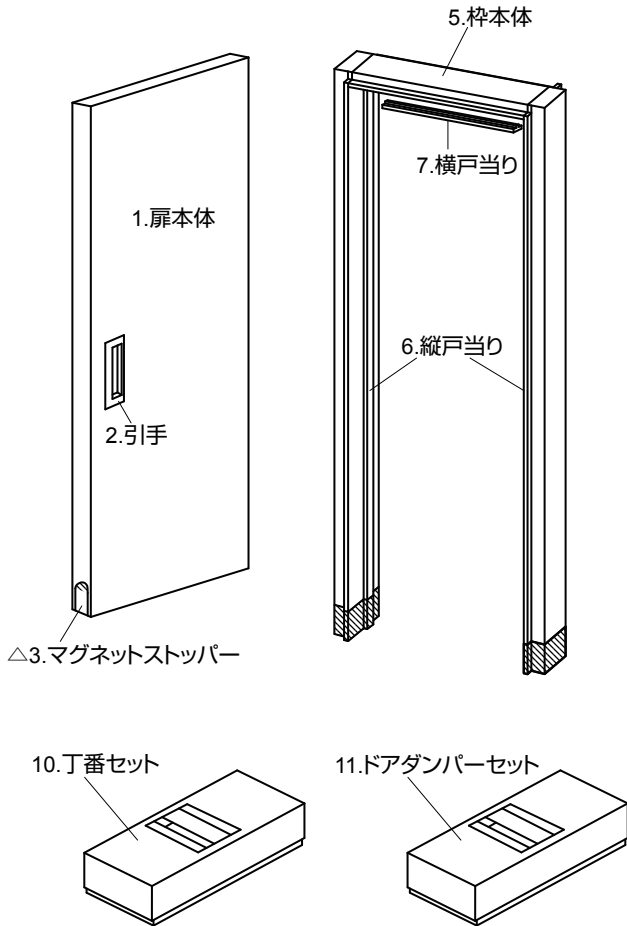
※ マグネットを心臓ペースメーカー等の電子医療機器に近付けると正常な作動を損なう恐れがあります。

※ マグネットをクレジットカード、キャッシュカード等に近付けると使用出来なくなる恐れがあります。

※ マグネットをパソコン、スマートフォン、時計等の精密機器に近付けると故障の原因になる恐れがあります。

# 1 全体図

## <片開きドア>



床に埋め込まない場合は納まりに合わせて現場カットしてください。

### 《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体	1
2	引手(取付済)	1
△3	マグネットストッパー(取付済)	1
△4	マグネットストッパー受座	1

△：内蔵マグネットストッパー付きを選択された場合のみとなります。

### 《枠》

番号	名称	数量
5	枠本体 3方枠(縦枠2、上枠1)	1
6	縦戸当り(取付済)	1
7	横戸当り(同梱)	1
8	枠組立ねじ $\phi 3.8 \times 55$ 	4
9	枠取付ねじ $\phi 3.8 \times 55$ 	3

※ 縦枠の固定ねじは現場手配となります。

### 《丁番》

番号	名称	数量
10	丁番セット(下図参照)	1

### 《ドアダンパー》

番号	名称	数量
11	ドアダンパーセット(下図参照)	1

### 《その他》

番号	名称	数量
12	クッション材 フェルト 4個入り クリアパンボン 1個	1
13	組立設置説明書(本紙)・取扱説明書 ※取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	各1

### 《丁番セット明細》

品名	丁番本体	カバー		取付ねじ			六角レンチ呼び3	掘込加工テンプレート
		扉側	枠側	扉側 十字穴付トラス タッピンねじ4×16	枠側 十字穴付皿 タッピンねじ4×20	皿小ねじM4×20 (2本入り)		
部品								
個数	2個セット 3個セット	2個 3個	2個 3個	2個 3個	8本 12本	8本 12本	2袋 3袋	1本 1本

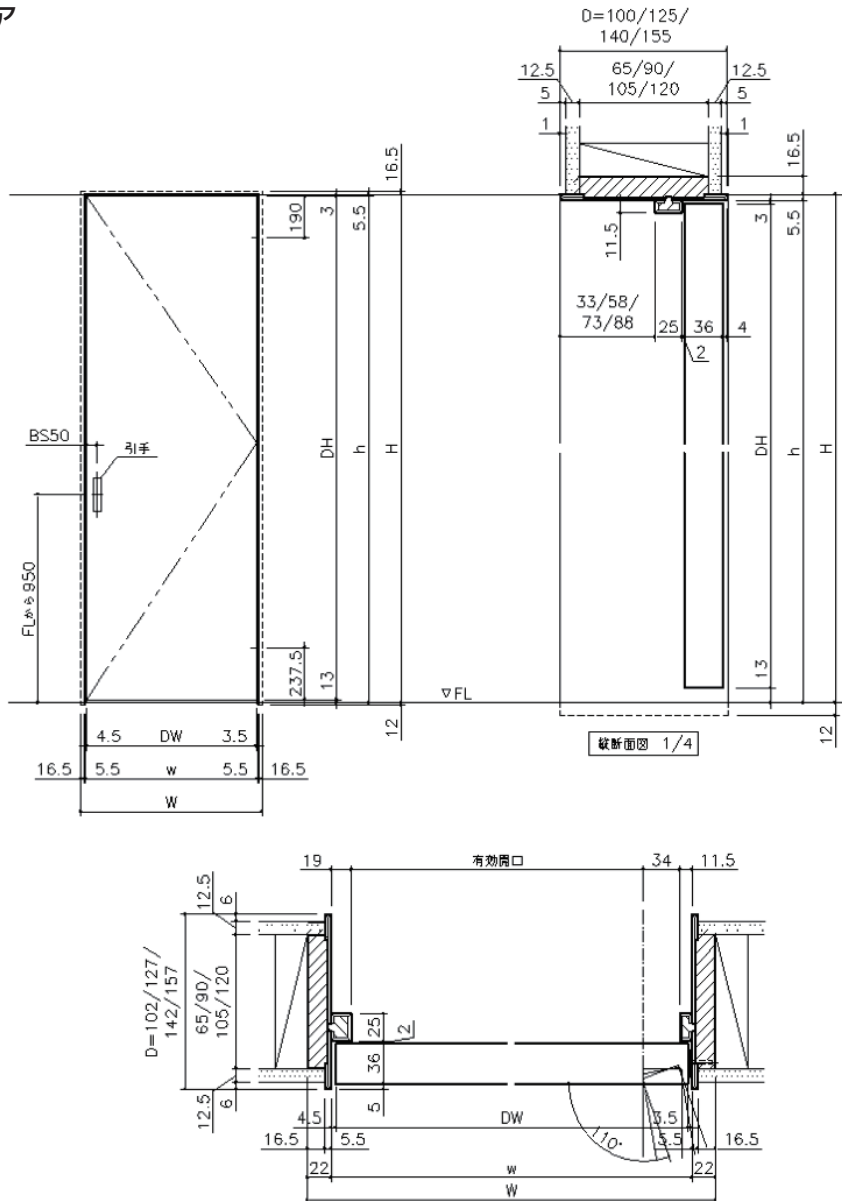
※ H ≤ 2400 は 2 個セット、H > 2400 (特注品) は 3 個セット

### 《ドアダンパーセット》

品名	本体	本体カバー	受座	受座カバー	本体取付用皿ねじ (呼び3.5×30)	受座取付用ねじ (呼び4×16)	受座取付 テンプレート
部品							
個数	1個	1個	1個	1個	2本	2本	1枚

## 2 寸法図

### 片開きドア



W	H	アンダーカット 寸法	建具寸法 DW×DH	枠内寸法 w×h	枠外寸法 W×H+28.5	有効開口
875	2100	13	823×2078.5	831×2094.5	875×2128.5	766.5
	2400		823×2378.5	831×2394.5	875×2428.5	
850	2100		798×2078.5	806×2094.5	850×2128.5	741.5
	2400		798×2378.5	806×2394.5	850×2428.5	
825	2100		773×2078.5	781×2094.5	825×2128.5	716.5
	2400		773×2378.5	781×2394.5	825×2428.5	
780	2100		728×2078.5	736×2094.5	780×2128.5	671.5
	2400		728×2378.5	736×2394.5	780×2428.5	
755	2100		703×2078.5	711×2094.5	755×2128.5	646.5
	2400		703×2378.5	711×2394.5	755×2428.5	
735	2100		683×2078.5	691×2094.5	735×2128.5	626.5
	2400		683×2378.5	691×2394.5	735×2428.5	
650	2100	598×2078.5	606×2094.5	650×2128.5	541.5	
	2400	598×2378.5	606×2394.5	650×2428.5		

※ 本図は右吊元 (R) を示す。

※ マグネットストッパー付き、マグネットストッパー無しの設定があります。

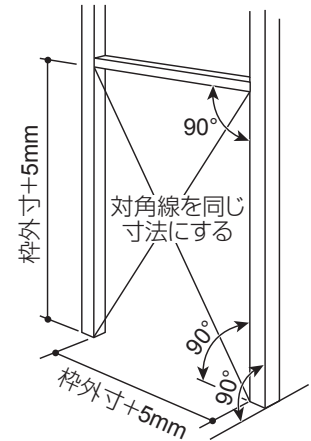
※ H2401~2700mmは特注扱いとなります。

### 3 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 下枠・沓摺は必要な場合は現場手配ください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器等でよく確認してください。垂直、水平がでない場合、下記の原因となります。
- 枠の固定下地は扉重量が十分耐えうる構造としてください。

吊元側は補強桟木をダブルにしてください。扉の重みに壁が耐えられず、建具が床をする場合があります。

下図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

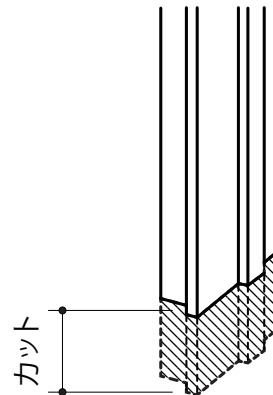


### 4 施工の前に

縦枠は標準 H + 12mm となります。

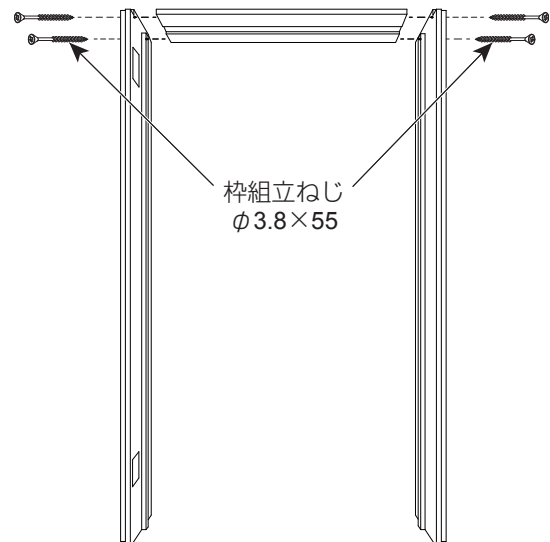
床納めに応じて現場にて下端をカットしてください。

- ※ 床後貼りの場合は、下端をカットせず、床下から施工する場合があります。



枠を組立ててください。

- ※ 枠組立ねじをご使用ください。
- ※ 縦枠と上枠にズレがないことを確認してください。
- ※ 鴨居裏面に「前面側」シールが貼ってあります。扉側になるように組立てを行ってください。



## 5 設置手順

### 《開口部への枠の取付け》

- ① 枠を固定する際は、枠取付ねじの部分に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱程度×高さ＝100mm以上）を入れてください。
- ② 縦枠の戸当りは取付済のため、**枠の裏面**よりねじ（現場手配）で固定してください。



- 縦枠の固定は柱の厚みや材質により必要な種類のねじを現場手配してください。
- 枠と下地が十分に固定されていないと、枠の外れやぐらつきで丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生するおそれがあります。
- 縦枠本体に **15～18mm 程度** 打ち込む長さのねじをご用意ください。

- ③ 枠を開口部にはめ込んで、丁番側の枠の上側丁番ベース中央部に枠の裏面から枠取付ねじもしくは現場手配のねじで固定してください。
- ④ 下げ振り等を使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部に枠の裏面から仮固定してください。
- ⑤ 上枠の戸当りは現場取付けのため枠の表面より同梱の枠取付ねじφ 3.8 × 50 で固定します。  
※ 水準器などで上枠の水平を見ながら戸先側の枠の上部を仮固定してください。
- ⑥ 下げ振り等を使って垂直をだしてから、戸先側の枠の下側を仮固定してください。

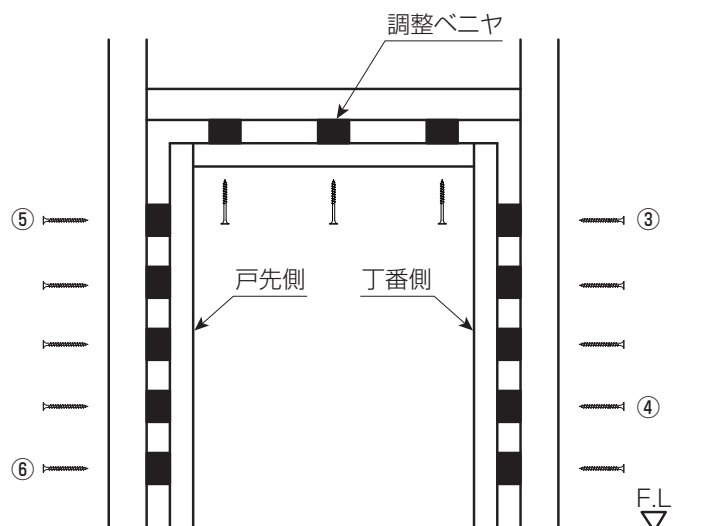
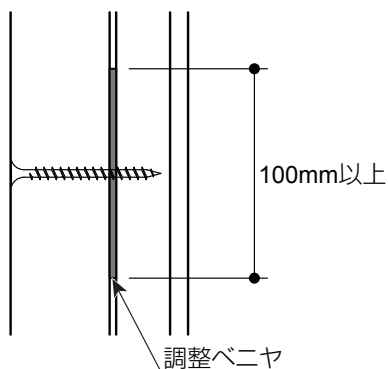


- 丁番の調整はあくまで微調整ですので枠の建付けを確認し、しっかりと施行してください。
- 調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生するおそれがあります。

- ⑦ 調整ベニヤを入れて、枠の前後、左右のたわみがないことを確認後、仮固定したねじおよび残りの部位について、枠取付ねじもしくは現場手配のねじで本固定してください。



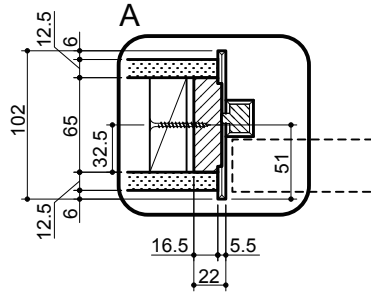
- 上枠のねじが突出していると戸当り浮きの原因となります。（必ず突出していないことを確認してください）
- 枠の水平・垂直を必ず確認してから取付けてください。（扉が閉まらない原因となります）



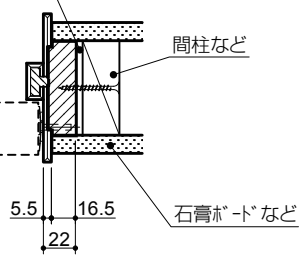
# 《納まり図》

## 【横断面図】

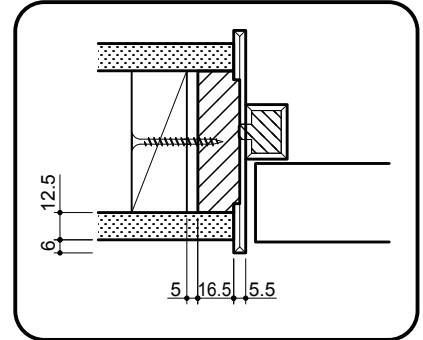
D102



スペーサーを取付けて、隙間が空かないようにしてください。

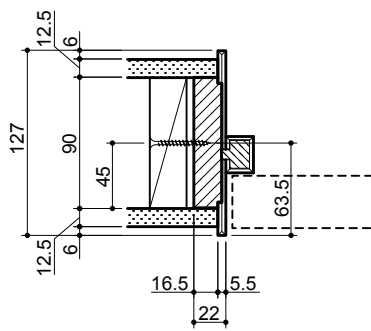


A 拡大図

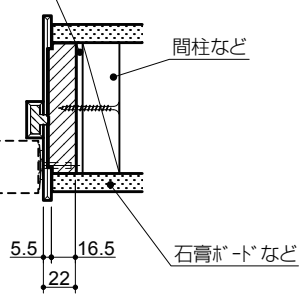


※ 側部から固定するねじの長さ参考  
下地厚+5mm(スペーサー)+15~18mm

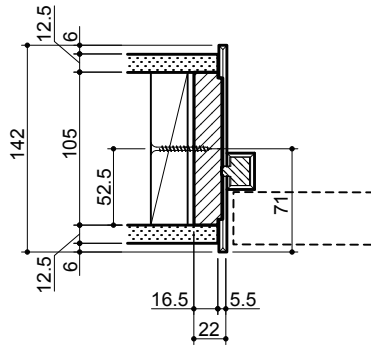
D127



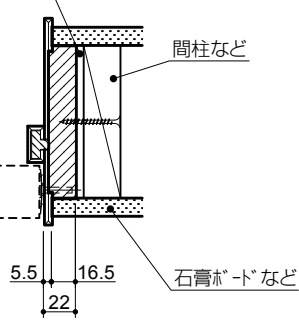
スペーサーを取付けて、隙間が空かないようにしてください。



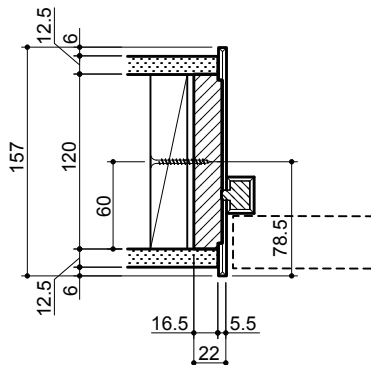
D142



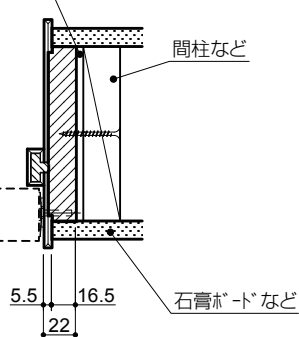
スペーサーを取付けて、隙間が空かないようにしてください。



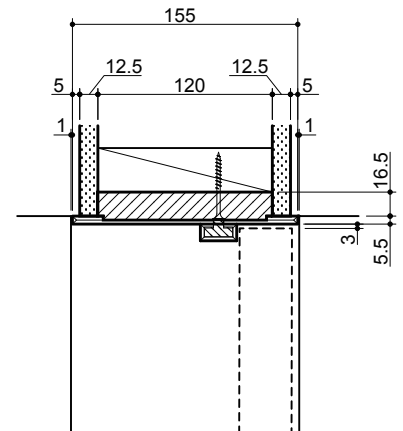
D157



スペーサーを取付けて、隙間が空かないようにしてください。

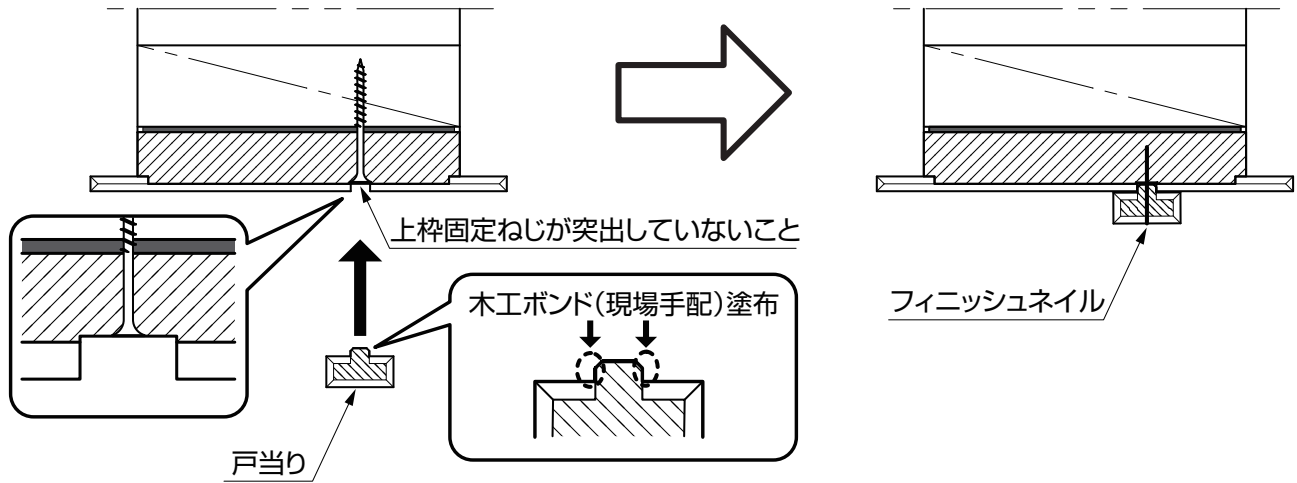


## 【縦断面図】



## 6 戸当りの取付け

上枠固定ねじが突出していないことを確認し、木工ボンド（現場手配）を塗布してください。  
戸当りを枠溝に入れフィニッシュネイル（現場手配）を両端部と中央付近に打ち仮固定してください。



- フィニッシュネイルが上枠固定ねじに干渉しないよう注意してください。
- フィニッシュネイルは木工ボンドが硬化するまでの仮固定です。（木工ボンドの量が少ないと扉の開閉時に戸当りが外れるおそれがあるため、木工ボンドは十分に塗布してください）
- 木工ボンドがはみ出た場合はふき取ってください。

## 7 戸当りクッション材の貼付け

戸先側の戸当りにクッション材を右図の通り貼付けてください。

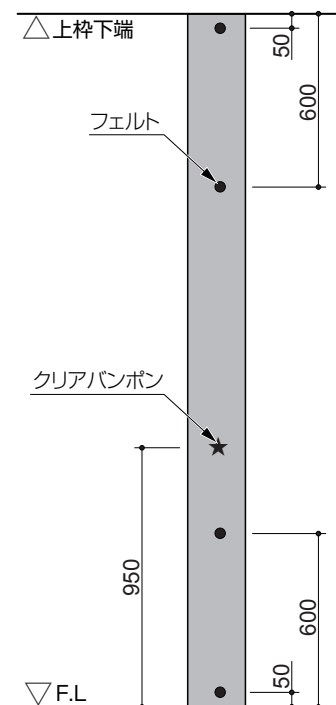
※ クッション材は2種類あります。

『●』はフェルト ……4個

『★』はクリアバンポン ……1個



- フェルトとクリアバンポンの取付け位置を間違えないでください。（開閉時の音が大きくなるおそれがあります）
- 貼付け前にほこり等をふき取ってください。（はがれの原因となります）



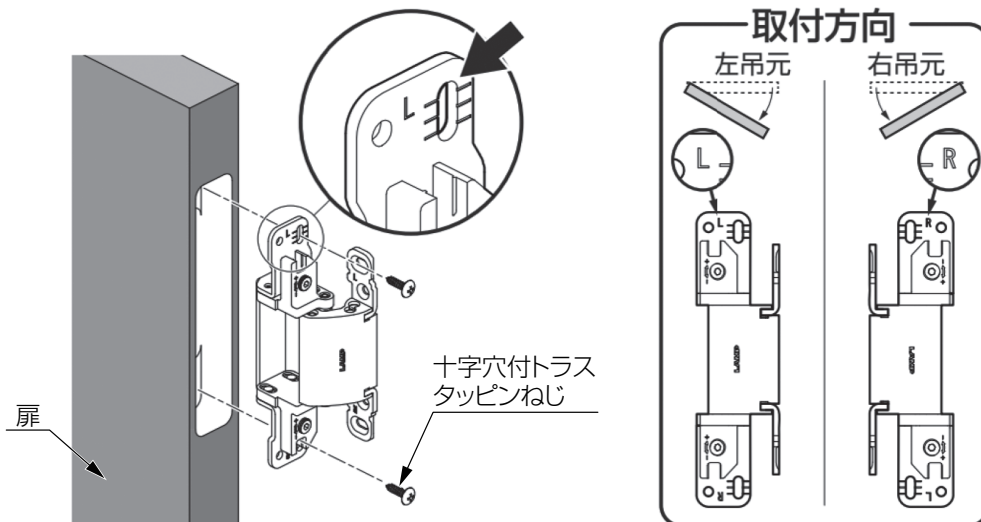
## 8 丁番の取付け

### 《扉への取付け》

十字穴付トラスタッピンねじで建具側に丁番を取付けてください。

丁番を取付ける際はφ3 深さ 10mm 程度の下穴をあけてください。

※ 取付ねじの位置は調整によって変わります。



※ 図は左吊元を示す。

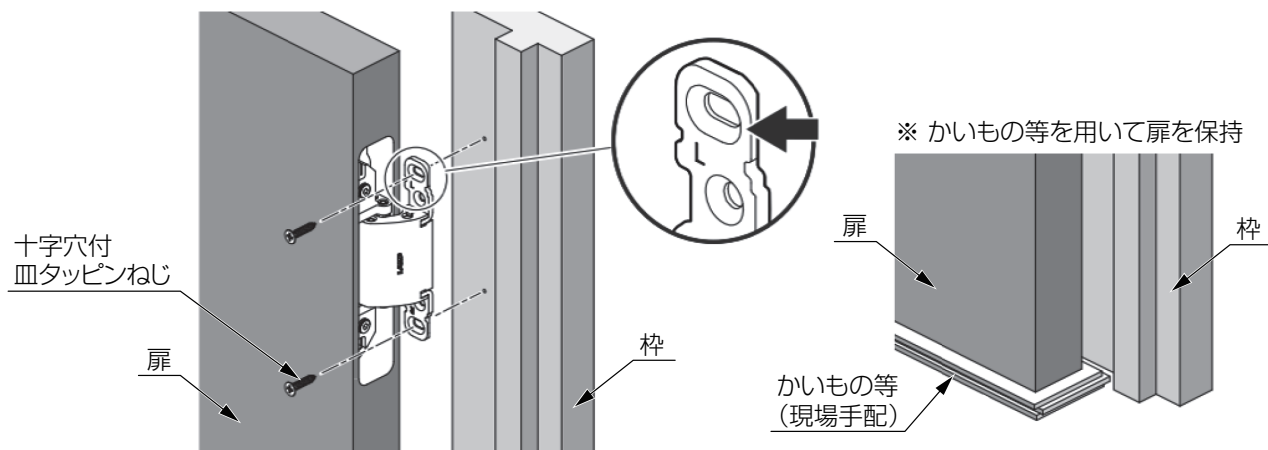


調整後に本固定ねじを固定するため、取付ねじは長穴を使用します。

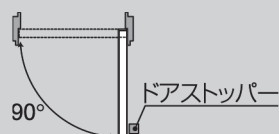
## 9 扉の吊込み方法

### 《枠への取付け》

十字穴付皿タッピンねじ (M4 × 20) を使用し、枠側に丁番を取付けてください。



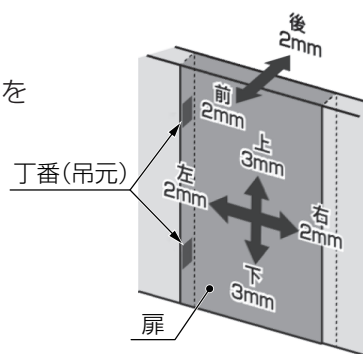
- 調整後に本固定ねじを固定するため取付ねじは長穴を使用します。
- 扉が90°の位置に止まるようドアストッパー (内蔵マグネットストッパー又は別売品) を使用してください。(枠および金具破損の原因となります)



## 10 各部の調整

扉の調整範囲は右図の通りです。

調整は扉を吊った状態で扉の下にかいもの等を用いて扉を保持しながら作業してください。

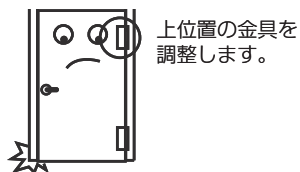


### 《上下調整の方法》

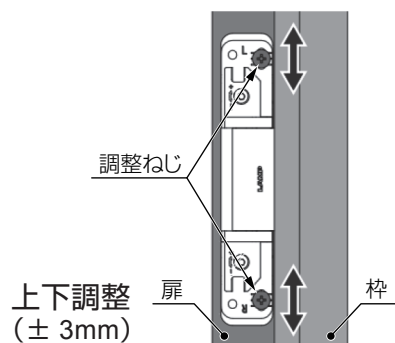
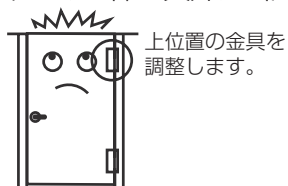
扉側の調整ねじを緩めます。

扉を最適位置にした状態でねじを締め込みます。

● ドアの下部が床に当たるとき



● ドアの上部が天井に当たるとき

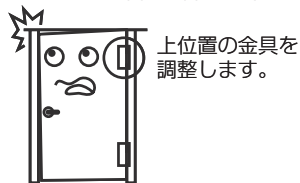


### 《前後調整の方法》

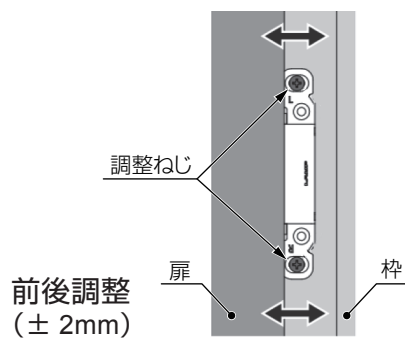
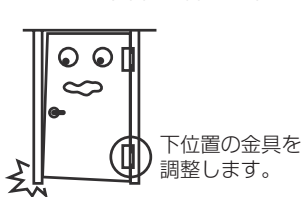
扉側の調整ねじを緩めます。

扉を最適位置にした状態でねじを締め込みます。

● ドアの上部が枠に当たるとき



● ドアの下部が枠に当たるとき



○ 調整後に緩まないようしっかりと締め付けてください。



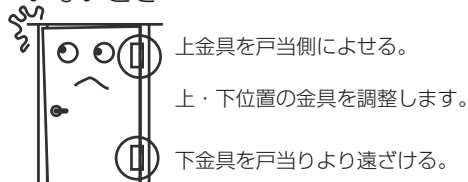
○ 調整の際に緩めすぎて外さないでください。扉が脱落してケガをする恐れがあります。

### 《左右調整の方法》

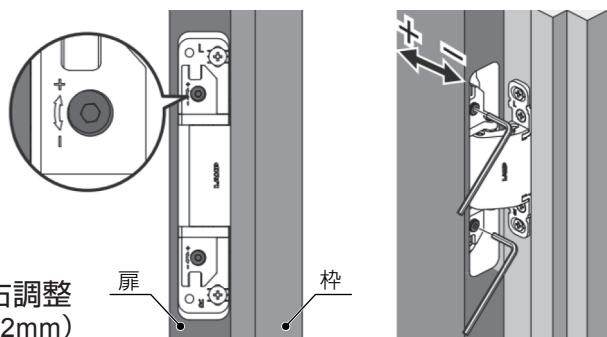
扉側の調整ねじを緩めます。

扉を最適位置にした状態でねじを締め込みます。

● ドアの下部は戸当りに当たっているが、上部が当たらないとき



左右調整 (± 2mm)

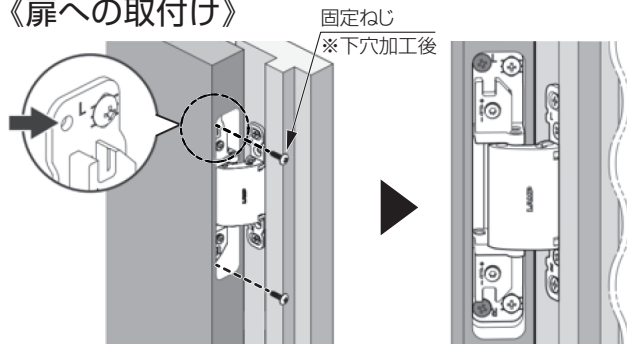


2つの取付ねじを少しずつ同量回してください。(片側だけ回し続けると丁番破損の恐れがあります)

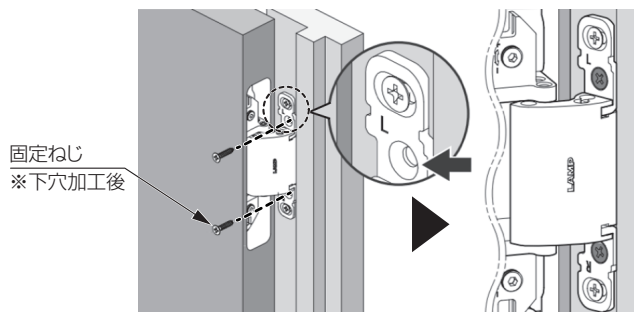
## 11 丁番の固定・カバーの取付け

扉の調整が完了したら扉・枠ともに丁番の本固定を行ってください。  
取付ける際はφ3 深さ 10mm程度の下穴をあけてください。

### 《扉への取付け》

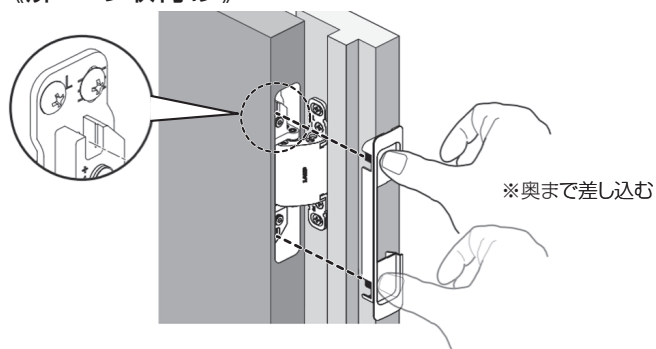


### 《枠への取付け》

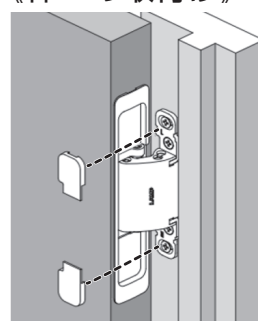


丁番の本固定が完了したら、カバーを取付けてください。

### 《扉への取付け》



### 《枠への取付け》



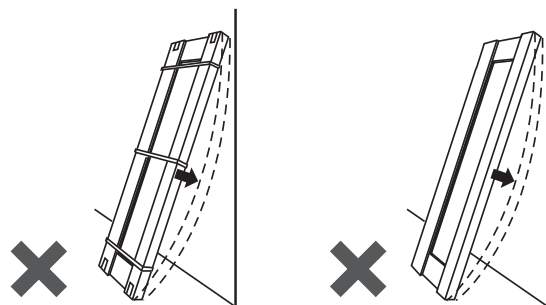
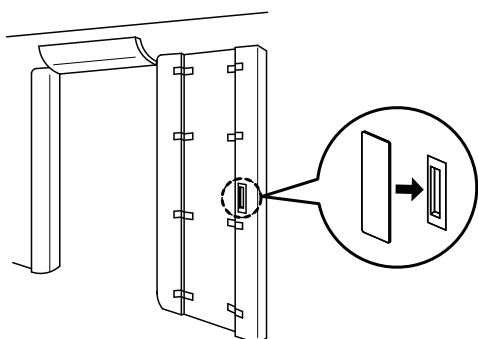
## 12 マグネットストッパー受座の取付け

### ■ 内蔵マグネットストッパー付きの場合

- 内蔵マグネットストッパーの受座の取付けは、マグネットストッパー受座に同梱されている取付説明書をご確認ください。
- 取付説明書に従い、マグネットストッパー受座を正しく取付けてください。

## 13 養生

工事が完成するまで扉・枠を養生材などで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



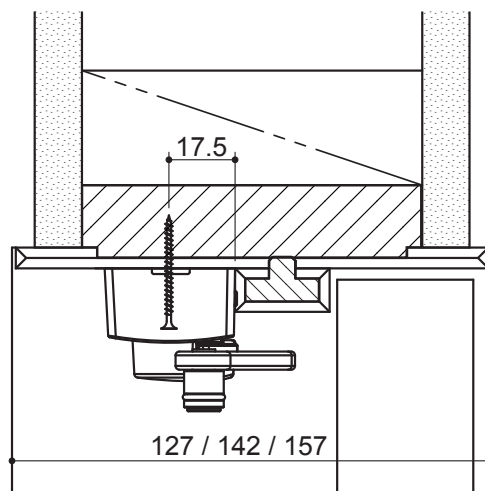
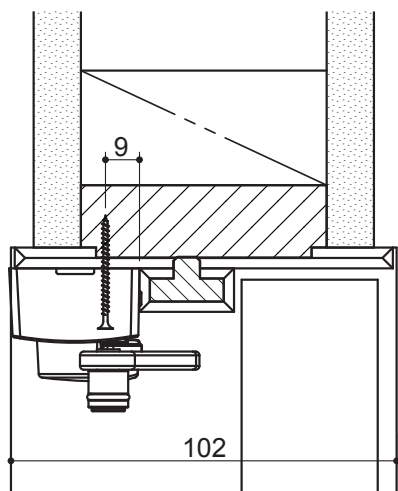
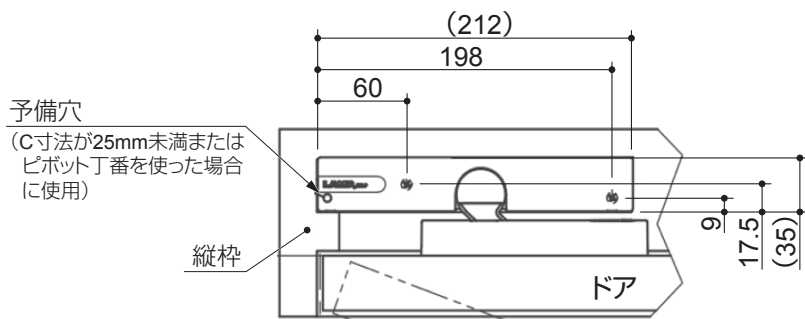
※ 扉は壁に立てかけて保管しないでください。  
(反りの原因になります)

## 14 ドアダンパー取付時の注意

102mm 枠と 127/142/157mm 枠でドアダンパー本体の固定ヶ所が異なります。

102mm のみ石膏ボードに干渉するため下図の予備穴を使用してください。

その他取付方法、調整方法はドアダンパー同梱の施工説明書をご覧ください。



**miratap**

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

